

令和8年6月1日	資料3
第2回 事業場における労働者の健康保持増進のための指針の在り方に関する検討会	

# トヨタ・日産・ホンダ 保健職の学びの場 ～他社交流を通じた知の探索・深化促進～

2026年6月1日  
事業場における労働者の健康保持増進の在り方に関する検討会

本田技研工業株式会社  
コーポレート管理本部 人事統括部 人事部 安全健康推進室

# トヨタ・日産・ホンダ 保健職の学びの場 ～他社交流を通じた知の探索・深化促進～

- 背景：産業保健職の内向き志向→他流試合を通じて自分磨き（自己成長）してほしい。
- 目的：個社の枠を超えて、産業保健職としての仕事専門性の強化と成長支援を図る。“競争ではなく共創”
- 内容：3社の共通テーマ（個社の関心事項や社会課題などテーマアップ）  
例）健康経営、事業への貢献のあり方、人事・安全部門との連携、メンタルヘルス、  
D&I(女性の健康課題・男性更年期、障がい者支援、LGBTQ)、治療と就労の両立支援など
- 開催概要：第一回：2024年10月@ホンダ 15名  
事業計画・施策、メンタルヘルス、  
フリーディスカッション  
施設見学  
第二回：2025年10月@日産 16名  
女性健康支援・男性更年期、メンタル  
ヘルス、フリーディスカッション  
施設見学  
第三回：2026年秋頃@トヨタ予定  
未定



# 女性の健康支援 ロードマップ

ありたい姿:女性が、制約のある中でも本来の能力を最大限発揮することで、生き活きと就労し、自分らしいキャリアを描けるような企業風土になっている状態

(会社・上司)

自分ごと  
当事者

時点の展開状況把握

～問診結果  
～アンケート結果

**「定着する」・「維持・改善する」**

・2WAYを利用して困りごとに対する具体的なアプローチを行い改善する

時点の展開状況把握

～問診結果  
～アンケート結果

**「行動する」・「実践する」・「対処する」**

・事業場毎に女性健康課題を把握し、行動する  
・各自の健康課題に対して早期に対処す

健康状況(可視化データ)を  
継続的に発信し、状況を把握する

**「知る」・「理解する」・「体験する」**

- 会社 ・相談しやすい組織風土 (ソフト面)  
・働きやすい職場環境整備 (ハード面)
- 上司 ・女性健康課題に対する理解促進

女性個人 ・リテラシー向上

産業保健スタッフ ・個別相談、行動変容支援

体制強化(各事業場の相談窓口設置)  
未然予防 (受診率向上施策展開)

**“基盤・土台づくり”**

他人ごと

24年度～25年度

26年度

27年度以降

1Q	2Q	3Q	4Q
生理 @HondaTV 健康全般@Hondaletter	更年期 @HondaTV 健康全般@健康ポータル @MHW (健保)	がん検診 @健康ポータル @MHW (健保)	プレコンセプションケア @HondaTV

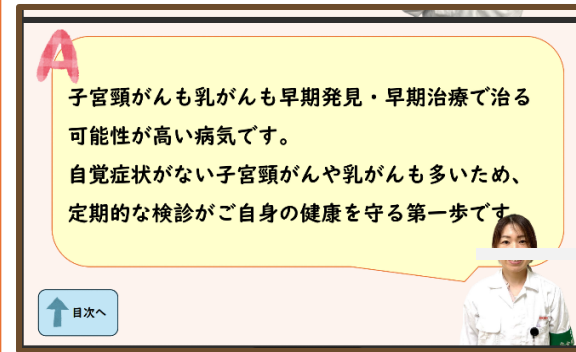
## 保健師による宣言



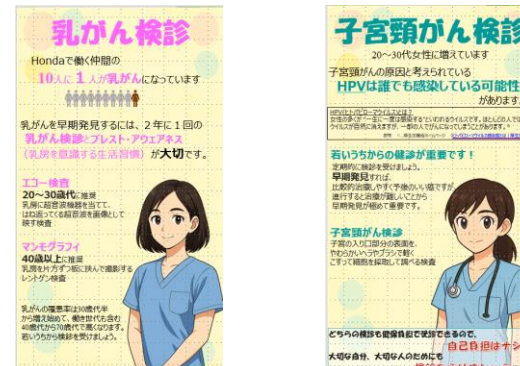
トヨタの取り組みを参考に  
生理痛体験セミナー実施



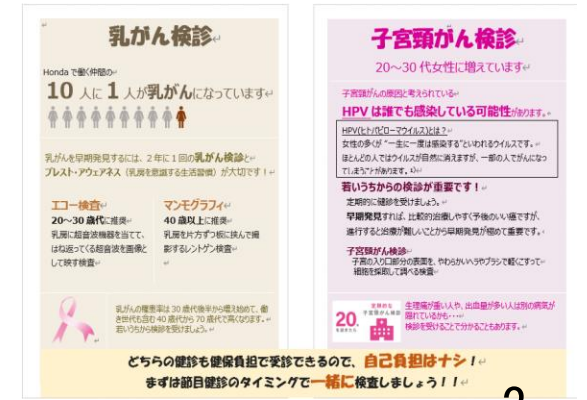
## 婦人科検診QA集掲載



各事業所配信  
・がん検診啓発ポスター



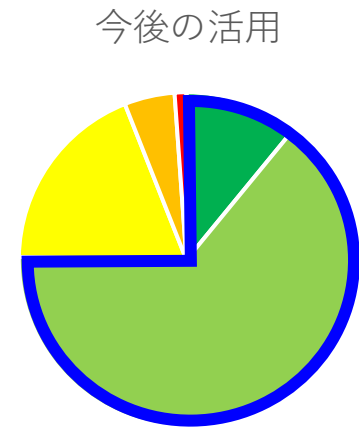
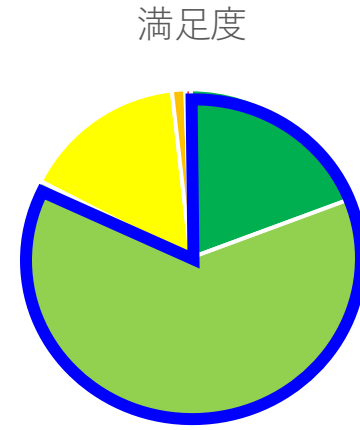
外部節目健診対象者用受診案内  
メールまたは常便で案内



# 女性の健康リテラシー向上施策 ～「理解する」女性課題結果～

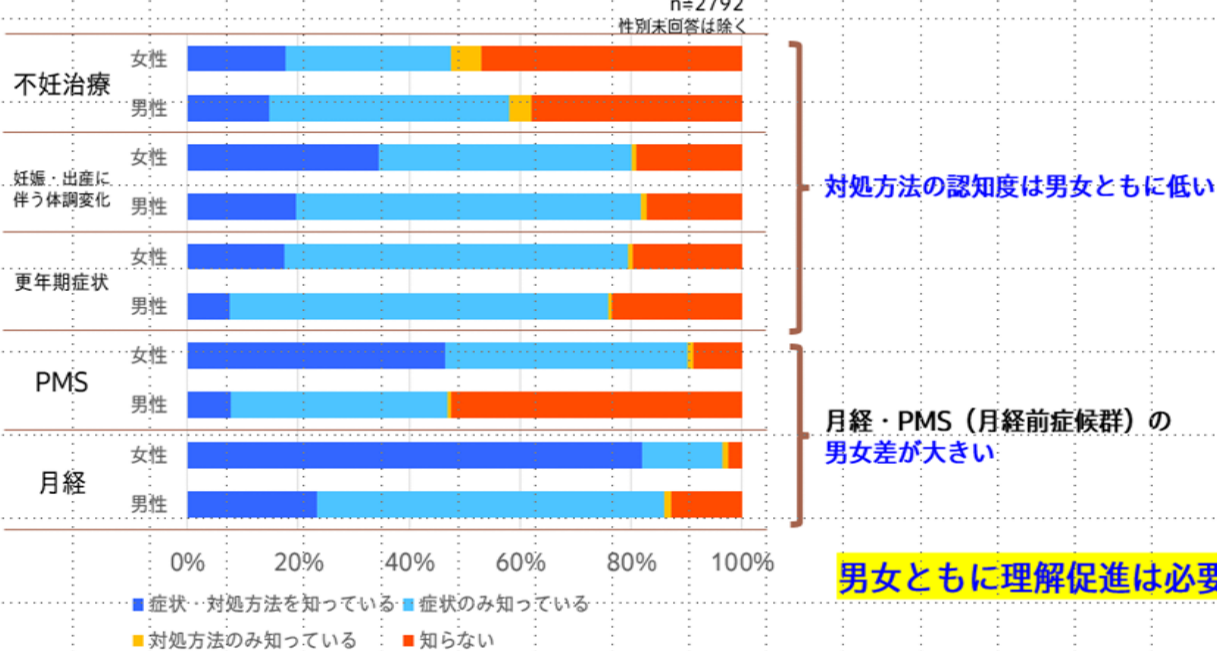
- 対象者数 3,686名
- 受講者数 3,272 (88.8%)
- 視聴期間
- 内容 **Eラーニング total40分**

- ①なぜ女性の健康対策が必要か
- ②女性の健康課題「生理とホルモン」
- ③女性の健康課題「妊娠・出産・不妊治療」
- ④女性の健康課題「更年期」
- ⑤女性の健康課題「がん検診」

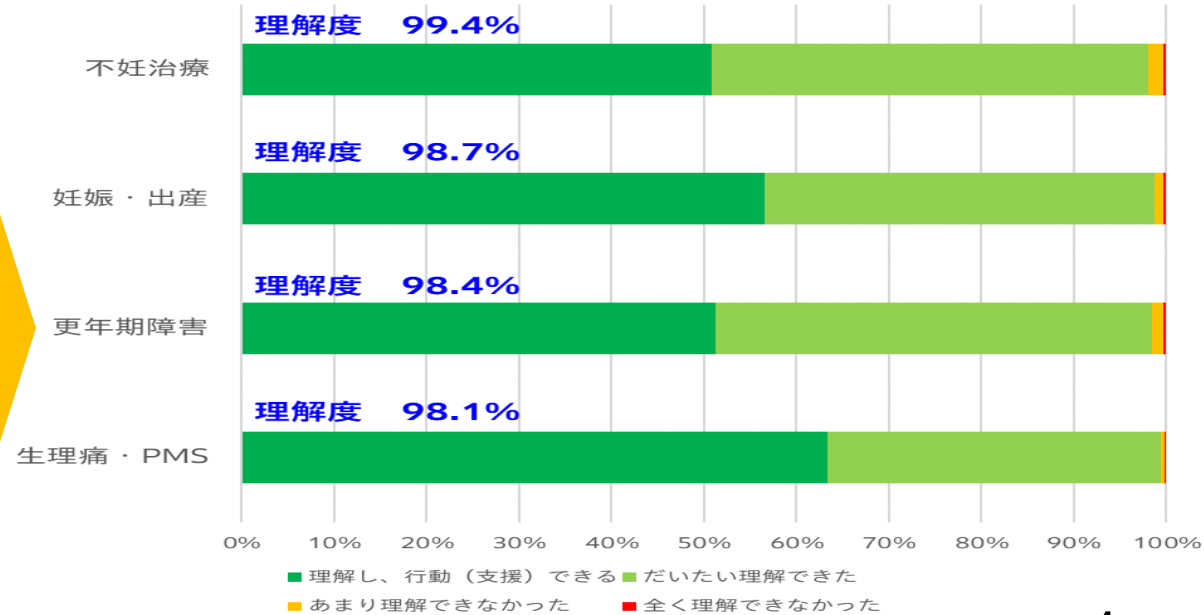


## 効果測定

■女性の健康課題の中で症状や対処方法を知っているものを教えてください (n=2792, 性別未回答は除く)



女性従業員の理解度

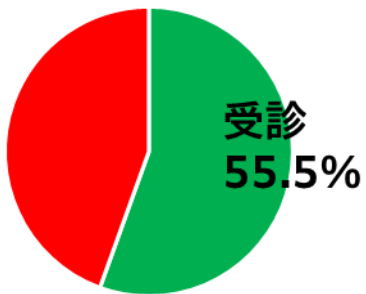


Eラーニングを実施し、理解度促進へ

# 女性の健康リテラシー向上施策 ～「理解する」がん検診結果～

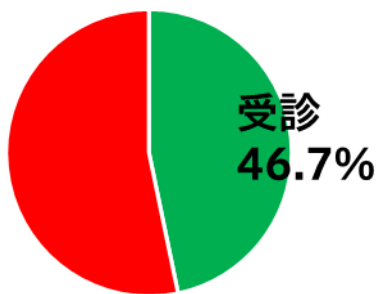
## ■定期的な受診

子宮頸がん受診率



■ している ■ していない

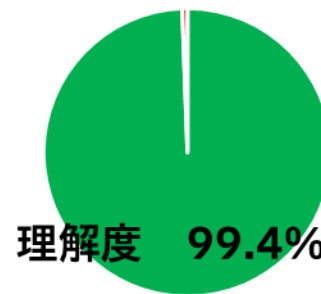
乳がん検診受診率



■ している ■ していない

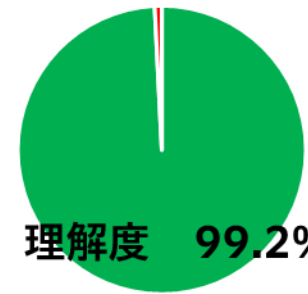
## ■受診の必要性の理解

子宮頸がん検診



■ 理解できた ■ 理解できなかった

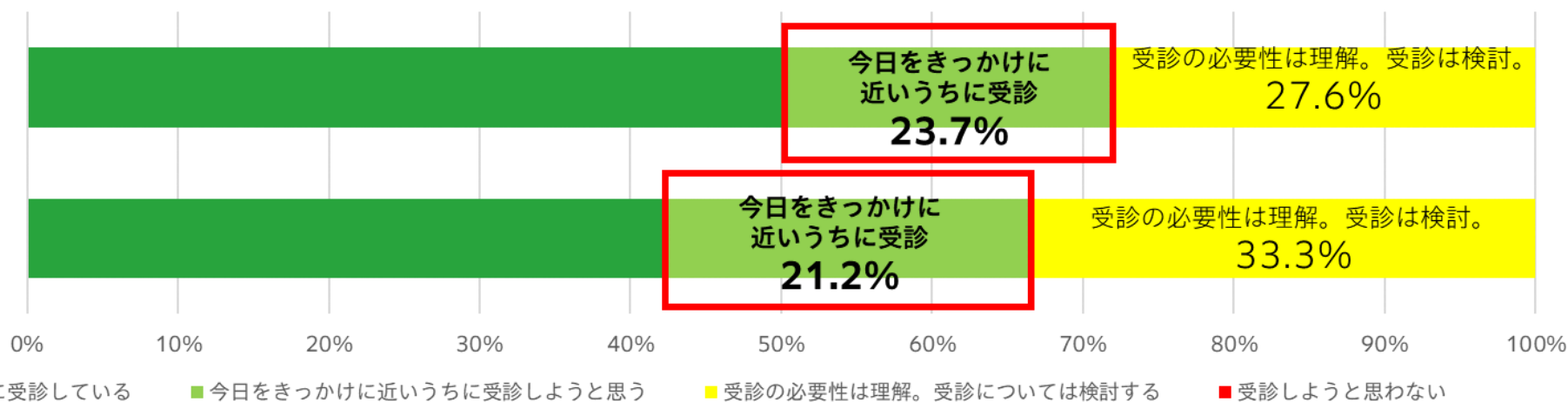
乳がん検診



■ 理解できた ■ 理解できなかった

## ■今後の受診

子宮頸がん検診



乳がん検診

■ 既に受診している ■ 今日をきっかけに近いうちに受診しようと思う ■ 受診の必要性は理解。受診については検討する ■ 受診しようと思わない

Eラーニングを実施したのをきっかけに、受診を予定するという、実際の行動変容へとつながった

取り組みの背景 <ホンダ健保 令和5年度医療費統計より>

## 乳房・子宮にがん陽性（疑いあり含む）：三桁の人数

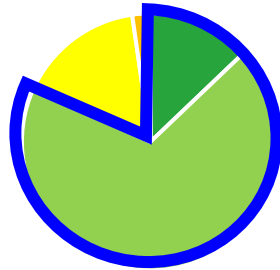
※ホンダ健保加入者総数

- ・2024年度より被保険者の節目健診の対象年齢を拡大 50歳、55歳 ⇒ 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳
- ・2024年度より（女性比率の高い）被扶養配偶者に節目健診を新たに導入
  - ・対象年齢は被保険者と同様
  - ・オプション項目には、骨密度検査や腫瘍マーカー（CA125：卵巣がん 等）を含む
- ・インセンティブポイントの交換アイテムに、配偶者健診の自己負担額のアイテムを設定（自己負担なし）  
※定期健診（1,500P）／生活習慣病健診（3,000P）
- ・2024年度より、婦人科検診<子宮がん・乳がん（マンモまたはエコー）>の自己負担ゼロ化  
※2023年度までは乳がん検診の自己負担¥1,000円（子宮がん検診は従来より無料）
- ・婦人科 単独受診可能の契約機関拡大（受診環境の充実）  
569機関（2021年度）→ 594機関（2026年度）
- ・2025年度より、重症化予防を目的とした職制による精密検査受診勧奨の強化展開スタート

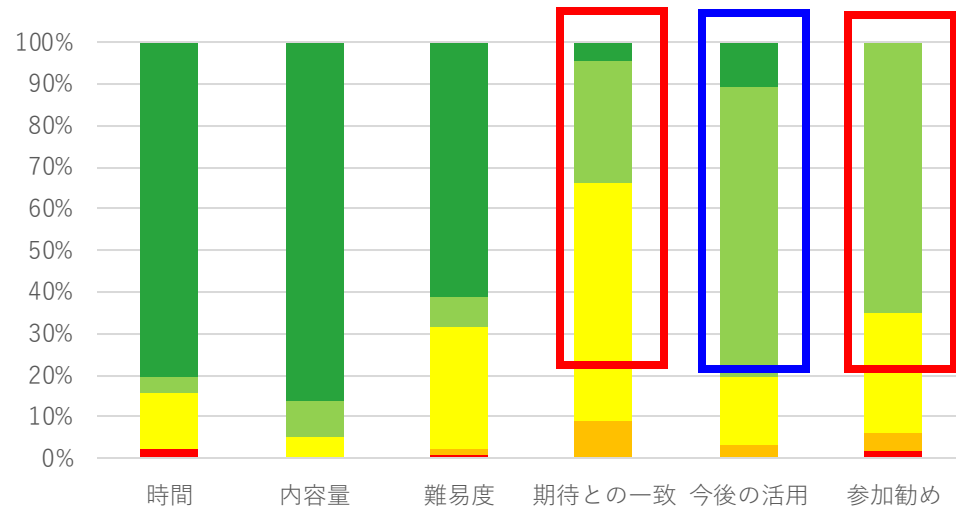


- ・ 研修参加者154名、アンケート回答者132名（回答率85.7%） ※内訳（開発：47名、営業：15名、生産：92名）
- ・ 内容と所用時間：Eラーニング後の **ケーススタディ（ロールプレイ） 90分**

満足度 81.8%



活用度 80.3%



否定的 ■■■ 肯定的 ■■■

## 【相談しやすい職場づくりに向けた取組みについて】

- 日常のコミュニケーションの積み重ね 64%
  - ・ 日々の声掛け・コミュニケーションに尽きると思います
  - ・ 普段の会話を大切にしながら関係性を構築したい
- 相談しやすい雰囲気・心理的安全性の醸成 25%
  - ・ 相手が話しても大丈夫と思える雰囲気づくりを心がけたい
  - ・ 小さなことでも相談しやすい、風通しの良い職場を目指したい

## 【感想】

- 実践的・ロールプレイについて 肯定的評価19%、改善要求10%
  - ・ ロールプレイは…**最初の一言を練習するコンセプトは良かった**と思います。
  - ・ 時間配分に余裕があると、より深い議論ができる。
  - ・ 静的な学びだけでなく、実際の活用を通じて **身体に覚えさせるのは大変有用**でした。
  - ・ 女性目線の意見・講義が無い/男性同士でのロールプレイなど **ギャップを感じた**
- 講義内容について 前向きな評価15%、具体例の要望9%
  - ・ 他の人がどのように考え、どう対応しようとしているのかが知ることが出来て勉強になりました。
  - ・ ケースバイケースでいろいろな対処が求められると思うので、対応事例等があれば共有して頂きたいです。